

一般質問発言通告書

発言順位 3 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年9月8日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 8 番 河野 月江



質問事項 1	感染症流行期に備えた予防・検査・医療体制と、積極的な情報発信等について
具体的内容	<p>県内の新型コロナウイルスによる感染者は、9/5までに494名となり、市内でも3人目の感染者発生が公表され、いつ誰が感染してもおかしくない状況にある。感染者の4割は無症状患者からの感染と言われるもと、厚労省はようやくこの1ヶ月で、検査対象に係る方針を、従来の「点」から「面」でとらえる方向へと転換した。また今月4日には、冬の新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、発熱症状のある患者の受診の手続きの変更も発表している。今後は、医師会の協力合意のもと、市がよりいっそう対応医療機関に関する情報提供と安心の情報発信を、市民に対しおこなうことが求められる。今後の市の、県・医師会との協力連携による、様々なリスクも想定した対応の見通しについて伺う。</p> <p>1. 8月より開設されたPCR検査センターの現状について 2. その他「行政検査」の委託状況と実施可能件数の把握について 3. 「行政検査」および「社会的検査」の拡充の必要性について 4. 市民、市内への、医療・検査体制に係る情報提供について 5. 乳幼児～小学校低学年（2年生）へのインフルエンザ予防接種費助成を求めるがどうか</p>
質問事項 2	就学援助をうける準要保護世帯への支援策と、就学援助制度の拡充について
具体的内容	<p>先の6月定例会一般質問において、5/19文科省発出の事務連絡（「新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業に伴う令和2年度要保護児童生徒援助費補助金（学校給食費）の取扱いについて」）にもとづき、当市においても臨時休校中実施されなかった給食の給食費を活用した、準要保護世帯への支援事業の実施を求めたところ、「コロナ対策に関する他の支援策とのバランスを考える中で、支援をするための根拠の明確化や事務手続きなど具体的な策を考え、現在検討しているところ」との答弁であった。その後の検討状況を伺う。</p> <p>また、新型コロナの影響が長期化する中、県内の求人倍率は2ヶ月連続1倍割れ、最低賃金も17年ぶりに据え置きなど、雇用経済情勢の悪化が深刻化している。児童生徒の家庭の抱える経済的困難に寄り添った就学援助の要件緩和による拡充を求め、見解を伺う。</p> <p>1. 準要保護世帯への支援策の検討状況について 2. 今年3月以降の就学援助制度申込・決定実績の推移、前年同月比、個別案内実績について 3. 児童生徒の家庭の抱える困難に寄り添った就学援助の要件緩和による拡充を求めるがどうか</p>
質問事項 3	コロナ禍の経験と影響をふまえた市政と「三島駅南口東街区再開発推進事業」
具体的内容	<p>新たな感染症の発生と拡大によって、世界的規模で何より尊い命と健康が奪われ、社会経済活動が打撃的影響を受ける中、市民の暮らしが様々な面で困難に陥る状態が現在進行形で進んでいる。様々なシステム、人々の生活様式も細部に至るまで見直し、変更、変容が迫られると同時に、この間の各種調査結果も示している通り、人々の意識や価値観にも大きな変化がうまれ始めている。こうした中、国内外、国地方問わず、従来の行政や「公共」の在り方や施策そのものの在り方についても、議論や大きな見直しが始まっている。コロナ禍の経験と影響をふまえた今後の市政について見解を伺うと同時に、「三島駅南口東街区再開発推進事業」について伺う。</p> <p>1. 静岡市、富士市など近隣市町での大型事業見直しや凍結等の動きをめぐる見解について 2. コロナ禍の経験と影響をふまえた今後の市政について 3. 「三島駅南口東街区再開発推進事業」と、この間開催されたオープンハウスについて 4. 事業計画、施設計画策定までのスケジュール等について</p>